

教科	算数	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 整数と小数	5	<ul style="list-style-type: none"> 整数や小数を位取り表や式に表す活動を通して、0から9までの数字と小数点で表せ、十進数として統合的に理解できるとともに、整数や小数の10倍、100倍、1000倍、$1/10$、$1/100$などの大きさの数は、小数点の移動によって求められることが理解できる。 既習事項を活用して、整数や小数の仕組みや表し方を考え、十進数としてまとめる力を身に付ける。 整数や小数の表し方や10倍、100倍、1000倍、$1/10$、$1/100$などの大きさを、生活や学習の中で使おうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 整数と小数が十進位取り記数法で表せることが分かり、1つの式に表せることが分かる。(知識) 整数や小数を1つの式に表すことができる。(技能) 0から9までの数字と小数点を使って、整数や小数の表し方が分かる。(知識) 0から9までの数字と小数点を使って、整数や小数を表わすことができる。(技能) 整数や小数の10倍、100倍、1000倍、$1/10$、$1/100$などの大きさの数は、小数点の移動によって求められることが分かる。(知識) 小数点の移動によって、整数や小数の10倍、100倍、1000倍、$1/10$、$1/100$などの大きさの数を求めることができる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 整数や小数を位取り表や式に表す活動を通して、仕組みや表し方を考え、表し、説明できる。 整数や小数の10倍、100倍、1000倍、$1/10$、$1/100$などの大きさの数の作り方を考え、小数点の移動によって求められることに気づき、求め、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を基にして、整数や小数の仕組みや表し方を考えたり、整数や小数を生活や学習の中で使ったりしようとしている。 小数点の移動によって、整数や小数の10倍、100倍、1000倍、$1/10$、$1/100$などの大きさの数を求めることを、生活や学習の中で活用しようとしている。
2. 直方体や立方体の体積	8	<ul style="list-style-type: none"> 体積の意味と単位(立方センチメートルcm^3、立方メートルm^3)や直方体や立方体の体積の求め方を理解し、公式にまとめ、それを使って体積が求められるとともに、容積の意味と求め方、体積の単位の関係が理解できる。 直方体や立方体の体積の求め方や、体積の単位の間係を考える力を身に付ける。 体積の求め方や単位を使った表し方を、生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 体積の意味と単位、表し方が分かる。(知識) 普遍単位(cm^3)を使って、体積を表すことができる。(技能) 直方体や立方体の体積の求め方と公式が分かる。(知識) 直方体や立方体の体積を、公式を使って求めることができる。(技能) 複合図形の体積の求め方が分かり、公式を利用して求めることができる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 直方体や立方体の体積の求め方を考え、公式にまとめ、説明できる。 複合図形の体積の求め方を考え、求め、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 公式のよさに気づき、生活や学習の中で活用し、体積や容積を求めようとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立船堀小学校

<p>3. 比例</p>	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比例の意味や比例する2つの数量の関係について理解し、数量の関係を表に表したり、式や数直線に表したりできる。 ・伴って変わる2つの数量を見つけ、それらの関係に目を付け、表や式を用いて変化や特徴を考える力を身に付ける。 ・2つの数量の関係に関心を持ち、生活や学習の中で調べ式に表そうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比例の意味と特徴、式の表し方が分かる。(知識) ・表を使って比例の関係を見つけ、式に表すことができる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量の関係を調べ、比例の関係を見つけ、言葉や式で説明できる。 ・数直線を活用して問題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や学習の中で、伴って変わる2つの数量の関係を調べたり、式に表したりしようとしている。
<p>4. 小数のかけ算</p>	<p>9</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整数×小数、小数×小数の意味と計算の仕方を理解し、筆算できるとともに、小数をかけるかけ算が面積や体積の公式にも使えることが分かり、小数のかけ算でも計算のきまりが成り立つことや、かける数の大きさによる積とかけられる数の大きさの関係を理解できる。 ・既習事項を活用して小数のかけ算の仕方を考えたり、計算のきまりを見つけたりする力を身に付ける。 ・小数のかけ算に習熟し、生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整数×小数、小数×小数の計算の意味と、計算の仕方、筆算の仕方が分かる。(知識) ・整数×小数、小数×小数の筆算ができる。(技能) ・かけ算のかける数と、積とかけられる数の大小関係が分かる。(知識) ・小数の場合にも面積や体積の公式が使えることが分かる。(知識) ・小数の場合にも面積や体積の公式を使って問題が解決できる。(技能) ・小数の場合にも計算のきまりが成り立つことが分かる。(知識) ・計算のきまりを使って、小数のかけ算を工夫して計算できる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を基にして、整数×小数、小数×小数の計算の仕方、筆算の仕方を考え、計算し、説明できる。 ・面積や体積の公式にも小数が使えるか調べ、判断し、説明できる。 ・計算のきまりが小数の場合にも成り立つか調べ、判断し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整数×小数、小数×小数の筆算に習熟し、生活や学習の中で使おうとしている。 ・面積や体積の公式や計算のきまりが、小数の場合にも成り立つか調べたり、生活や学習の中で用いたりしようとしている。
<p>5. 小数のわり算</p>	<p>9</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整数÷小数、小数÷小数の意味と計算の仕方を理解し、筆算ができ、商を概数で求めたり、余りを求めたり、わる数の大きさによる商とわられる数の大きさの関係を理解し、求めることができる。 ・既習事項を活用して小数のわり算の計算の仕方を考える力を身に付ける。 ・小数のわり算に習熟し、生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整数÷小数、小数÷小数の計算の意味と、計算の仕方、筆算の仕方が分かる。(知識) ・整数÷小数、小数÷小数の筆算ができる。(技能) ・わり算のわる数と、商とわられる数の大小関係が分かる。(知識) ・小数のわり算の余りの求め方が分かり、余りを求めることができる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を基にして、整数÷小数、小数÷小数の計算の仕方、筆算の仕方を考え、計算し、説明できる。 ・小数のわり算の余りの求め方を考え、求め、説明できる。 ・小数のわり算の商を概数で表す仕方を考え、表し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整数÷小数、小数÷小数の計算に習熟し、生活や学習の中で使おうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立船堀小学校

<p>6. 合同な図形</p>	<p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> 合同な図形の意味や性質、用語（合同、対応する頂点、対応する辺、対応する角）や、合同な図形の作図の仕方を理解し、作図できる。 合同な図形の性質を調べたり、合同な図形のかき方を考えたり、筋道を立てて説明したりする力を身に付ける。 三角形や四角形の合同に関心を持ち、生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 合同の意味、性質、用語、合同の弁別の仕方が分かる。（知識） 合同な図形の弁別ができる、確かめることができる。（技能） 四角形を対角線で分割してできた三角形が合同であるかを調べることができる。（技能） 合同な三角形や四角形の作図の仕方が分かる。（知識） 合同な三角形や四角形が作図でき、確かめることができる。（技能） 	<ul style="list-style-type: none"> 合同な図形を見つけたり、調べたり、弁別したりして、その根拠を説明できる。 合同な図形の性質を基に、合同な三角形や四角形の作図の仕方を考え、作図し、確かめ、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りから合同な図形を見つけたり、合同な三角形や四角形をかいいたりし、生活や学習の中で活用したりしようとしている。
<p>7. 図形の角</p>	<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三角形や四角形など多角形の内角の和が何度になるか理解し、求めることができる。 三角形や四角形など多角形の内角の和の求め方を考え、帰納的にまとめる力を身に付ける。 三角形や四角形など多角形の内角の和に関心を持ち、生活や学習の中で活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の内角の和が何度になるか調べ方が分かる。（知識） 三角形の2つの角の大きさが分かっているとき、もう1つの角の大きさの求め方が分かり、求めることができる。（知識・技能） 四角形の内角の和の求め方が分かる。（知識） 四角形の3つの角の大きさが分かっているとき、もう1つの角の大きさの求め方が分かる。（知識） 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の内角の和の求め方を考え、帰納的にまとめ、説明できる。 四角形の内角の和の求め方を考え、帰納的にまとめ、説明できる。 多角形の内角の和の求め方を考え、帰納的にまとめ、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 三角形、四角形、多角形の内角の和に関心を持ち、生活や学習の中で、調べたり、活用したりしようとしている。
<p>8. 偶数と奇数、倍数と約数</p>	<p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> 整数を2で割った余りに着目して分類した偶数と奇数や、倍数、公倍数、最小公倍数の意味と求め方、約数、公約数、最大公約数の意味と求め方を理解し、問題解決に活用できる。 偶数と奇数や、倍数や公倍数、最小公倍数の求め方、約数や公約数、最大公約数の求め方を考え、問題解決に活用できる力を身に付ける。 整数の性質に関心を持ち、約数や倍数などを生活や学習の中で生かそうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 偶数と奇数の意味と類別の仕方が分かり、偶数や奇数を指摘できる。（知識・技能） 倍数、公倍数、最小公倍数の意味と求め方が分かり、求めることができ、これらを使って問題の解決ができる。（知識・技能） 約数、公約数、最大公約数の意味と求め方が分かり、求めることができ、これらを使って問題の解決ができる。（知識・技能） 	<ul style="list-style-type: none"> わり算の余りに着目して、整数の分類の仕方を考え、分類し、説明できる。 倍数、公倍数、最小公倍数の求め方を考え、求め、説明できる。 倍数、公倍数、最小公倍数を用いた問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。 約数、公約数、最大公約数の求め方を考え、求め、説明できる。 約数、公約数、最大公約数を用いた問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 偶数と奇数、倍数、公倍数、最小公倍数、約数、公約数、最大公約数に関心を持ち、生活や学習の中で使おうとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立船堀小学校

<p>9. 分数と小数, 整数の関係</p>	<p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整数÷整数の商は分数で表せることや、分数と小数と整数の関係や大小比較の仕方を理解するとともに、分数倍の意味について理解し求めることができる。 ・分数と小数と整数の関係や大小比較の仕方や、分数倍の求め方を考え、分数の意味をまとめる力を身に付ける。 ・整数÷整数の商を分数で表すこと、分数と小数と整数の関係、分数倍を活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整数÷整数の商は分数で表せることが分かる。(知識) ・整数÷整数の商を分数で表すことができる。(技能) ・何倍かを表すのに分数になること(分数倍)が分かる。(知識) ・何倍かを分数倍で表すことができる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・図を用いて、整数÷整数の商の表し方を考え、表現できる。 ・何倍かを表すのに分数で表せることに気づき、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整数÷整数の商を分数で表すことを、生活や学習の中で使おうとしている。 ・生活や学習の中で、倍を分数でも表そうとしている。
<p>10. 分数のたし算とひき算</p>	<p>11</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の性質、通分や約分の意味を理解し、異分母分数の相等や大小比較ができるとともに、異分母分数のたし算やひき算の仕方を理解し、計算できる。 ・異分母分数の大小比較の仕方や、異分母分数のたし算やひき算の仕方を考える力を身に付ける。 ・異分母分数の通分や約分、たし算やひき算に習熟し、生活や学習の中で活 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の性質が分かる。(知識) ・通分の意味と仕方が分かり、通分できる。(知識・技能) ・通分して、異分母分数の相等や大小比較ができる。(技能) ・異分母分数のたし算やひき算の意味と計算の仕方が分かり、計算できる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数の性質を調べ、説明できる。 ・異分母分数の大小比較の仕方を考え、比較し、説明できる。 ・大きさが等しく、できるだけ分母の小さな分数の作り方を考え、作り、説明できる。 ・前時までの学習や図などを基にして、異分母分数のたし算やひき算の仕方を考え、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通分や約分に習熟し、同じ大きさの分数を探したり、作ったりしようとしている。 ・異分母分数のたし算やひき算、分数と小数の混じったたし算とひき算に習熟し、生活や学習の中で活用しようとしている。
<p>11. 平均</p>	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平均の意味と求め方を理解し、測定などに活用できる。 ・平均の求め方を考え、それを問題解決に活用する力を身に付ける。 ・平均の用いられる場面を見つけたり、生活や学習の中で使おうとしたりする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均の意味と求め方、平均を求める言葉の式が分かる。(知識) ・平均を求めることができる。(技能) ・平均から全体の量を求める求め方が分かり、求めることができ、問題の解決ができる。(知識・技能) ・0のある場合の平均の求め方や、平均は小数で表すことがあることが分かる。(知識) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均の意味を知り、それを基に重さや距離などの平均の求め方を考え、求め、説明できる。 ・測定値などの平均を基にして、全体の距離を求めるなどの問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均に関心を持ち、生活や学習の中の問題解決に活用しようとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立船堀小学校

<p>12. 単位量あたりの大きさ</p>	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単位量あたりの大きさの意味が分かり、単位量あたりの大きさを求めたり、比べたりすることができ、用いられる場面が分かるとともに、人口密度や速さの意味と表し方、求め方を理解し、活用できる。 単位量あたりの大きさに目を付け、目的に応じて比べたり表現したりする仕方を考え、問題解決に活用する力を身に付ける。 単位量あたりの大きさを使って、生活や学習の中の問題の解決に活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 単位量あたりの意味と求め方、用いられる場面が分かり、求めたり、比べたりできる。(知識・技能) 人口密度の意味と求め方が分かり、求めたり、比べたりできる。(知識・技能) 速さの意味や表し方(時速、分速、秒速)、求め方、公式が分かる。(知識) 速さを、公式を用いて求め、表すことができる。(技能) 速さの公式を用いて、速さや道のり、時間の求め方が分かる。(知識) 速さの公式を用いて、速さや道のり、時間を求める問題が解決できる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 混み具合などの比べ方を考え、比べ、説明できる。 速さの比べ方を考え、比べ、説明できる。 速さの求め方を考え、公式にまとめ、表現できる。 速さの公式を用いて、速さや道のり、時間を求める問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単位量あたりの大きさや人口密度などに関心を持ち、生活や学習の中で、見つけたり、求めたり、比べたりしようとしている。 速さに関心を持ち、公式を理解し、生活や学習の中で、活用しようとしている。
<p>13. 四角形と三角形の面積</p>	<p>11</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既習の面積の求め方を基に、平行四辺形や三角形、台形やひし形の面積の求め方を考え、面積の求め方と公式を理解し、計算で求めることができるようにするとともに、三角形の高さと面積の関係を調べ、比例していることを理解させる。 既習の面積の求め方を基にして、平行四辺形や三角形などの面積の求め方を考える力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の面積の求め方と公式を理解している。(知識) 平行四辺形の面積の公式を用いて、面積を求めることができる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の面積の求め方を活用して、平行四辺形の面積の求め方を考え、求め、説明できる。 面積の求め方を公式にできないか考え、公式に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の面積の求め方を活用して、平行四辺形や三角形、台形やひし形の面積の求め方を考えようとしている。
<p>14. 割合</p>	<p>9</p>	<ul style="list-style-type: none"> 割合の意味と求め方、表し方(百分率、歩合)を理解し、使えるようになるとともに、割合の3用法(割合＝比較量÷基準量、比較量＝基準量×割合、基準量＝比較量÷割合)を理解し、これらを用いた問題解決ができる。 割合の求め方を考え、割合の3用法を活用して問題解決する力を身に付ける。 割合を生活や学習の問題の解決に活用しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 割合の意味と求め方が分かる。(知識) 割合の表し方の百分率と歩合、相互の関係が分かる。(知識) 割合を求め、百分率や歩合で表すことができる。(技能) 比較量や基準量、割合の関係の言葉の式や数直線などを基にして、比較量や基準量の求め方が分かる。(知識) 割合の言葉の式や数直線を使って、比較量や基準量を求める問題が解決できる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 割合の求め方を考え、求め、表現できる。 比較量や基準量、割合の関係を基にして、割合を使った問題の解決の仕方を考え、解決し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 割合で表すことのよさが分かり、割合の言葉の式や数直線にあてはめて問題を解決しようとしている。

令和2年度 評価規準

学校名：江戸川区立船堀小学校

<p>15. 帯グラフと円グラフ</p>	<p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・帯グラフや円グラフを知り、全体と部分、部分と部分の関係を読み取ることができるとともに、帯グラフと円グラフのかき方を理解し、かくことができ、活用できる。 ・データの特徴や傾向に目を付けて、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、結論を多面的に捉えて考える力を身に付ける。 ・帯グラフや円グラフのよさが分かり、生活や学習の中で読み取ったり、かいたりして使おうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯グラフの意味と読み方が分かり、全体と部分、部分と部分の関係を読み取ることができる。(知識・技能) ・円グラフの意味と読み方が分かり、全体と部分、部分と部分の関係を読み取ることができる。(知識・技能) ・複数の帯グラフから割合の変化の読み取り方が分かり、読み取ることができる。(知識・技能) ・帯グラフのかき方が分かり、かくことができる。(知識・技能) ・円グラフのかき方が分かり、かくことができる。(知識・技能) ・目的に応じたグラフ(帯グラフ、円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ)の使い方を理解し、適切に活用できる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯グラフから全体と部分、部分と部分の関係を捉え、説明できる。 ・円グラフから全体と部分、部分と部分の関係を捉え、説明できる。 ・帯グラフのかき方を考え、かき、説明できる。 ・円グラフのかき方を考え、かき、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯グラフや円グラフの使い方、読み方、かき方、全体と部分、部分と部分の割合の関係を、生活や学習の中で使おうとしている。
<p>16. 変わり方調べ</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数量の関係について理解し、数量の関係を表に表したり、□や△などを用いた式に表したりできる。 ・伴って変わる2量を見つけ、それらの関係に目を付け、表や式を用いて変化や特徴を考える力を身に付ける。 ・2つの数量の関係に関心をもち、生活や学習の中で調べ1つの式に表そうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量の関係を、表を使って調べ、□や△などを使って式に表す仕方が分かる。(知識) ・伴って変わる2つの数量の関係を、表を使って調べることができ、□や△などを使って式に表すことができる。(技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量の関係を調べ、規則性を見つけ、式の表し方を考え、表し、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や学習の中で、伴って変わる2つの数量の関係を調べたり、□や△などを使って式に表したりしようとしている。
<p>17. 正多角形と円周の長さ</p>	<p>9</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・正多角形の意味と性質を理解できるようにし、円を使って正多角形の作図ができるようにするとともに、円周率の意味と円周の求め方の公式を理解させ、求められるようにする。 ・図形の構成の仕方を考えたり、図形の性質を見つけたり、それを筋道立てて説明したりする力を身に付ける。 ・身の回りから正多角形を見つけたり、円周の長さを求めたりしようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正多角形の意味と性質が分かり、弁別できる。(知識・技能) ・円を使った正多角形の作図の仕方が分かる。(知識) ・円を使った正多角形の作図ができる。(技能) ・円周率の意味と求め方、約3.14であることが分かる。(知識) ・直径や半径の長さから円周の長さの関係や円周の求め方が分かる。(知識) ・円周の長さを求める公式が分かり、計算で求めることができる。(知識・技能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・円を用いた正多角形の作図の仕方を考え、作図し、説明できる。 ・円を使って調べる活動を通して、円周の長さは直径の長さの何倍になるか調べ、説明できる。 ・円周率を基にして、直径の長さから円周の長さの求め方を考え、公式にまとめ、説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や学習の中で、正多角形を見つけたり作図したりし、それが正しいか確かめようとしている。 ・円周率を活用して、生活や学習の中で、円の円周の長さを求めようとしている。

<p>18. 角柱と円柱</p>	<p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・角柱と円柱の意味と性質を理解させるとともに、角柱と円柱の見取図と展開図のかき方を理解させ、かけるようにする。 ・図形の構成要素に目を付け、図形の性質を見付けたり、その性質を基に既習の図形を捉え直したりする力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・角柱の意味、側面や底面、性質が分かり、頂点や辺の数、面の形や位置関係などが分かる。(知識) ・角柱が弁別でき、側面や底面、辺や頂点などが指摘できる。(技能) ・円柱の意味、側面や底面、性質が分かるとともに、面の形や位置関係などが分かる。(知識) ・円柱が弁別でき、側面や底面などが指摘できる。(技能) ・既習事項を基にして、角柱の見取図と展開図のかき方を考え、表現できる。 ・角柱の見取図と展開図のかき方と読み方が分かる。(知識) ・角柱の見取図と展開図がかけ、読み取ることができる。(技能) ・円柱の見取図と展開図のかき方と読み方が分かる。(知識) ・円柱の見取図と展開図がかけ、読み 	<ul style="list-style-type: none"> ・角柱の特徴を調べ、表現し、説明できる。 ・円柱の特徴を調べ、表現し、説明できる。 ・既習事項を基にして、角柱の見取図と展開図のかき方を考え、表現できる。 ・既習事項を基にして、円柱の見取図と展開図のかき方を考え、表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの立体に関心を持ち、角柱や円柱を見つけ、特徴を調べようとしている。 ・生活や学習の中で、見取図や展開図を使って、身の回りの立体を表現しようとしている。
------------------	----------	--	--	--	---